

看護学科の土岐弘美准教授 の記事「軽度認知症の人の自己を支えるケアガイドライン開発に向けて」が『月刊 地域ケアリング』に掲載されました。

軽度認知症の人の自己を支える支援について取り組んでいる研究が、『月刊 地域ケアリング』雑誌の特集「認知症とともに生きる共生の実現に向けて」8月号に紹介されました。

先行研究¹⁾から軽度認知症の人が病を抱えることで新たに発見する自己を解明し、その自己を支えることは、心理的な安定や社会活動の継続を支えることが示唆されました。この知見を基盤に軽度認知症の人の自己を支えるケアガイドラインを開発する背景や意義、ケアガイドライン活用の展望について紹介しています。

1. 土岐弘美, 田井雅子, 野嶋佐由美. 軽度認知症の人の語りからみる自己のとらえ, 日本精神保健看護学会誌 31 (2) ,48~57,2022.



<掲載雑誌情報>

著者：土岐弘美, 中平洋子, 小原弘子

タイトル：軽度認知症の人の自己を支えるケアガイドライン
開発に向けて

雑誌名：月刊 地域ケアリング

巻号頁：25 (9) 56-57

出版年月：2023 年 8 月

出版社：北隆館